



「社会人富士リーグ・バドミントン」  
運営委員会会長で、フルマラソン  
参加120回を数える

金子 俊一 さん  
(今泉9丁目)



**金** 子さんは社会人富士リーグ・バドミントン運営委員会会長を務めるほか、フルマラソンに百二十回以上参加するほどのタフなスポーツマン。この六月には、リーグの開催が百回目を迎えます。

金子さんは、「このリーグはバドミントンに熱心なメンバーを中心に、昭和四十七年に第一回目の大会が開かれました。今では約五十チーム以上が参加するようになりました。また、会員の年齢層も幅広く、バドミントンを通じて親睦を深めたり、体力づくりをしたりしています。

まもなく百回目を迎えますが、よくここまで続いたというのが実感です。途中でもう続けるのをやめようかと思ったこともありましたが、仲間や家族に支えられて続けることができました。仲間と一緒にバドミントンをプレーできる喜びは大きいですね。また、マラソンはバドミントンの

のトレーニングの延長で始めたようなものです。マラソンは『こだわり』『チャレンジ』『ユーモア』の三つをモットーに走っています。バドミントンもマラソンも、自分をさらけ出すことでお互いを理解し合える仲間づくりにつながるものと思います。ことしじゅうにはウルトラマラソンへの参加も百回を達成できそうで、ことしは百に縁がある年になりそうです(笑)。これからはできる限りバドミントンもマラソンも続けていきたいですね。」と明るい笑顔で力強く語ってくれました。



※ウルトラマラソン：五十キロメートル以上の距離を走るマラソン

募集

あなたの知っている  
輝いている人・グループ  
などをご紹介ください。

「広報ふじ」の五日号では、市内に住んでいるユニークな趣味や特技を持っている人や市内で熱心に活動をしているグループなどにスポットを当てています。

そこで、皆さんの知っているそんな人・グループをご紹介ください。趣味、スポーツ、ボランティア、文化芸術活動など、どんな分野でも結構です。また、地道に活動が続いているグループなどの紹介も大歓迎。もちろん、自薦他薦を問いません。たくさんのご応募・ご紹介をお待ちしています。

●選考 応募していただいた中から、季節や地域などを考慮して選びます。採用が決定したグループや個人には広報広聴課からご連絡いたします。ただ、ご応募してくださったグループや人物のすべてをこのコーナーで取り上げることはできませんので、ご了承ください。

●応募方法 住所、氏名、電話番号(グループの場合はグループ名と代表者の氏名、住所、電話番号)、簡単な活動内容、他薦の場合は推薦者の住所、氏名、電話番号を書いて、〒417-1860 一富士市役所広報広聴課「人・グループ紹介」係へ。

●締め切り 特にありません。随時受け付けています。

★また、まちかどネットワークのコーナーで取り上げてほしい企画なども募集しています。「こんなことを取り上げてほしい」ということがありましたら、どしどし広報広聴課までお寄せ下さい。

